



10月に入り、衣替えの季節となり朝晩は少し肌寒くなってきたように思います。季節柄、体調を崩さないように心がけたいものです。

今年度、一学期を振り返ると、新型コロナウイルス感染症のために行事の延期、内容変更、縮小と例年とは異なり、新しい生活様式を意識しての毎日であったように思います。

《一学期終業式において》

以下、終業式においての話を掲載します。

みなさんこんにちは、先日、初めて全員が集まった結団式を行いました。今日は、通常全校生徒が集まる形態での終業式となります。

今日は、まず、地域の方からの嬉しい報告を紹介したいと思います。それは、

武雄町武雄区の山口さんという方からでした。「新武雄病院前の宮崎薬局付近の小道で転んでしまったところを中学生と思われる男子3名が、「だいじょうぶですか?と声をかけ、起こしてくれました。ありがとうございました。よろしくお伝えください。」とのこと。その後病院に行かれたそうです。また、永松区の樋渡さんという方からです。「中学生女子2名が、庭先で熱中症のために倒れているのを家族に連絡してくれました。助かりました。ありがとうございました。と伝えてください。」とのこと。

地域の方は、皆さんのことを良きにしろ、悪きにしろ、よく見ておられます。このような良い行いの連絡がたくさんあるようになると武雄中学校は、ますます地域に誇れる学校になっていくのではないかと思います。

さらに、先日の校内合唱コンクールはすばらしい歌声を披露してくれました。感動しました。ありがとうございました。その時の審査員の先生の話を紹介します。「練習時間がない中にすばらしい歌声でした。生徒さんたちはすばらしいですね。」と好評でした。大変嬉しく思いました。

3年生は、9月16日から18日まで修学旅行に行ってきました。今回、武雄市の観光をPRするリーフレット等を事前に作成し、2日目の自主研修の時にそのリーフレットを鹿児島市内のお店等に展示依頼をしてくれています。その中の一つである天文館通りのドトールコーヒーショップのスタッフさんからお手紙が来ていますので、読み上げます。

拝啓 初秋の候
突然失礼いたします。先日、修学旅行で生徒さんが当店を訪れてくださり、武雄市の観光PRのリーフレットなどをいただきました。その手作りのPR資料がとても素敵で可愛らしく、スタッフ一同大変感銘を受けまして、改めてお礼を申し上げたく一筆とりました（松尾実侑さん・平石悠奈さんの作品です）
見知らぬ土地で声をかけることは、勇気のあることなのに、笑顔で礼儀正しく接してくれて、とても嬉しかったです。他の生徒さんのマナーもすばらしくて、コロナで沈んでいた街がその日、久しぶりに華やいで見えて、元気をいただくことができました。ありがとうございます。
お店の都合上、ずっと展示することは難しくして申し訳ないのですが、常連のお客様たちからも素敵だね、と声をかけられていますよ。
皆様のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。
敬具



2020年 9月 22日

ドット・W コーヒー・ショップ
鹿児島天文館通り店

スタッフ 中村 有紀

とてもうれしい内容の手紙でした。私は、これを読んで「ありがとうございます。」と感謝のひとことでした。

去る9月22日、テレビ中継もありましたが、サッカー部は佐賀県ジュニアユースチャンピオンズカップにおいて優勝するという素晴らしい成績をあげました。また、野球部は佐賀県西部地区中学校新人軟式野球大会において優勝という成績を上げています。

先週2日の杵島武雄地区中体連駅伝大会では、女子が1位と6位、男子が2位と11位という優

秀な成績を出してくれました。女子は、来月6日（金）に行われる県大会に出場します。応援をよろしくお願いします。

さて、4月6日に始まった90日ほどの1学期が、今日で終了になります。1学期はどうでしたか。短かったですか。それとも、長かったですか。短いと感じた人は、それだけ毎日が充実していたと言えるのかもしれませんが。今年は、こんなことをがんばるぞという思いや願いを持って今年度をスタートしたことと思います。どこまで達成できたでしょうか。学級で1学期の反省と2学期へ向けた目標を書いたところもあると思います。再度1学期を振り返って見てください。日々の生活、学習、部活動、学校行事等について、嬉しかったこと、楽しかったこと、いやだったこと、くやしかったこと、笑ったこと、悲しかったこと、涙したこと、がんばったこと、うまくいったこと、うまくできなかったこと、ほめてもらったこと、注意・指導を受けたこと、などなど一つ一つのことみなさんの成長につながっているものと信じます。

学期の終わりの日です。先ほど話したように1学期の反省をすることは大事なことです。そこで、私からいくらか質問をしますので、自問自答をして再度反省をしてもらいたいと思います。

1つ目です。みなさん「ありがとう」と言っていますか。朝は家の人に送ってもらっている人がいますが、当たり前だと思っていないですか。朝の忙しい時間に家の人をみなさんのために使われているのです。「ありがとう」と言ってもらいたいと思います。

また、家族や友だちからの何気ない言葉で安心したり、元気づけられたりしていませんか。そして、時に勇気をももらったりしているのではないかと思います。

みなさんは今、自分が健康で元気なのは、自分だけでなく、家族や先生方、武雄中学校のみんな、地域の方々に支えてもらっているおかげだと感謝する気持ちを失わないでもらいたいということです。まずは、「感謝する心」を常に持ってもらいたいと思います。

2つ目は、みなさんが発する言葉についてです。脳科学の研究によれば、言葉が人間の意識、つまり私たちの心と関係していることは間違いないようです。言葉の力を「言霊」ということがあります。言葉にすることで、気分が晴れるとか、モヤモヤが消えるという人もいます。これからも大いに聞き、語るとともに言葉を大事にしてもらいたいと思います。

事務室前の廊下に「一つの言葉」という詩を掲示していますが、外見や態度だけでなく、言葉も、その人となっていくはずです。人を傷つけるような強い言葉を使えば、同じかそれ以上の強さの言葉が返ってきます。これは「売り言葉に買い言葉」と言います。争いごとの始まりですね。逆に優しい言葉は、褒め言葉となるはずです。コミュニケーションではとても大事なポイントになります。

事務室横に掲示している「一つの言葉」を読んだことがありますか。

一つの言葉

一つの言葉でけんかして	一つの言葉でなかなお
一つの言葉で頭が下がり	一つの言葉で心が痛む
一つの言葉で楽しく笑い	一つの言葉で泣かされる

一つの言葉はそれぞれに 一つの心をもっている

きれいな言葉はきれいな心 優しい言葉は優しい心

一つの言葉を大切に 一つの言葉を美しく

一つの言葉は、それぞれにひとつの力を持っている

これから、さらにグローバル社会が進展していくとされています。そこで活躍するにはそんな「言葉の力」が大きな鍵になると思います。しっかりと言葉の意味、重みを考えて発言できるようになってください。人を傷つける言葉を使っていたら、結局は自分を傷つけることにつながっていきます。

「良き言の葉は、良きものを招き、悪き言の葉は、災いを招く」と言われます。

認める言葉、支える言葉、励ます言葉、勇気づける言葉、感謝の言葉をかけあってみんなで認め合い、支え合い、高め合っていきたいものです。

先ほど代表の人に通知表を手渡しました。このあと、担任の先生から通知表を手渡されると思います。通知表には、各教科の評価や担任の先生からの1学期の生活や学習についての様子について、評価が記入されています。感謝の気持ちを持って受け取ってもらいたいと思います。褒めてもらったところは自信を持って更に伸ばすように、反省すべき点は、素直に反省して、2学期につなげてもらいたいと思います。

最後に、職員室の廊下に掲示している腰塚勇人さんの「五つの誓い」を読み上げます。

5つの誓い

「口」は、人を励ます言葉や、感謝の言葉を言うために使おう

「耳」は、人の言葉を最後まで、聴いてあげるために使おう

「目」は、人のよいところを見るために使おう

「手と足」は人を助けるために使おう

「心」は人の痛みが、分かるために使おう

1学期をしっかり反省し、後悔しない満足いく2学期になるようにがんばってください。